

吉本ビルディング

YOSHIMOTO BUILDING

所在地———大阪市北区梅田1-8-16

建築主———吉本ビルディング株式会社

設計者———株式会社竹中工務店

施工者———株式会社竹中工務店

竣工———1986年8月31日

location———Osaka City

owner———Yoshimoto Building Co., Ltd.

architects———Takenaka Corporation

contractor———Takenaka Corporation

completion date——August, 1986



アトリウム夜景 Atrium at night.



全景 General view.



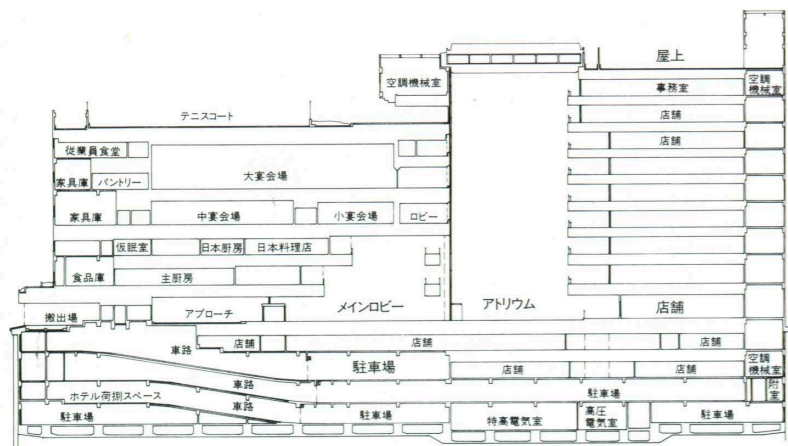
アトリウム Atrium.



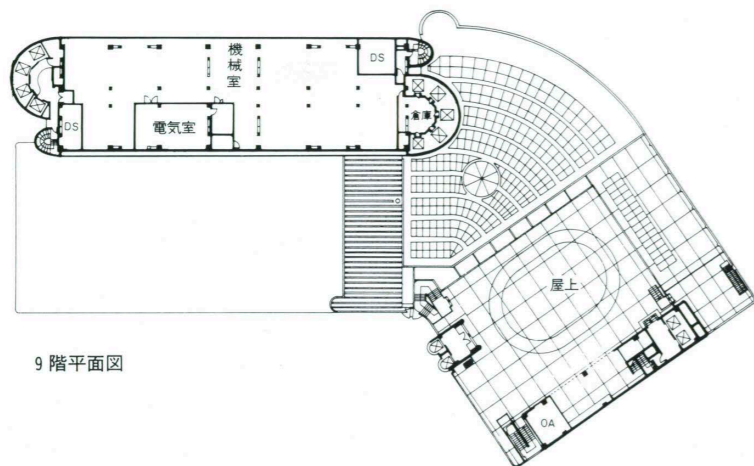
ホテルのロビー吹抜け Open space above the lobby in the hotel.



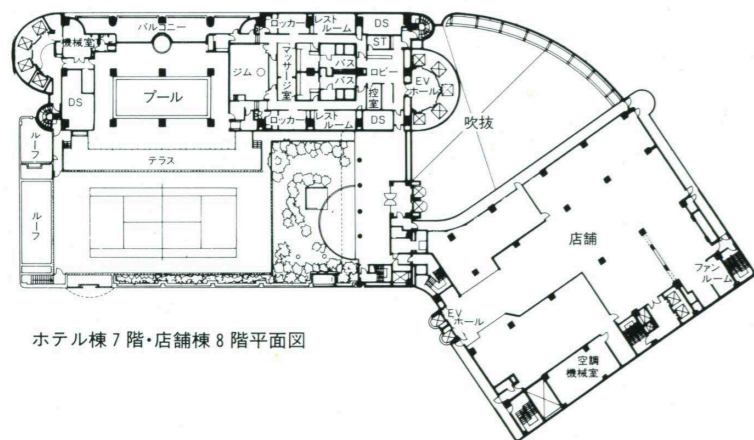
ロビー見下ろし Downward view into the lobby.



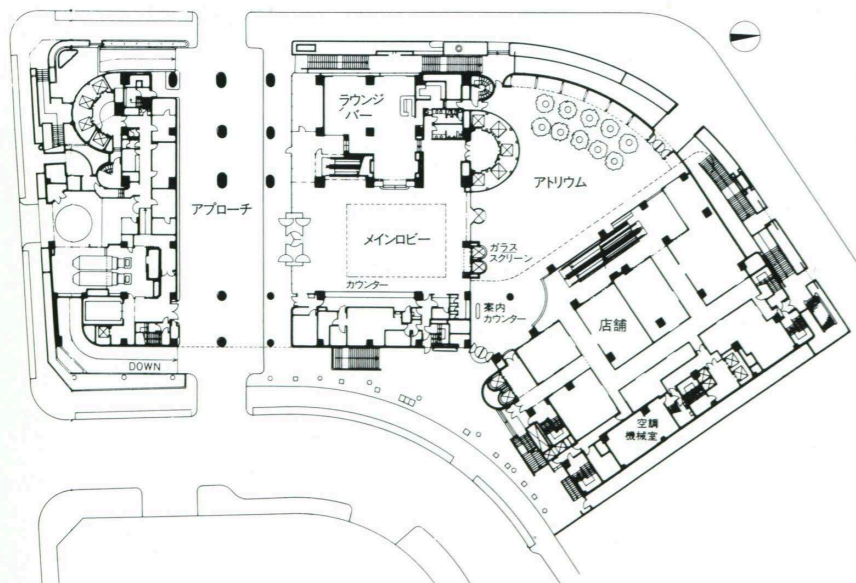
断面図 縮尺 1/1,200



9階平面図



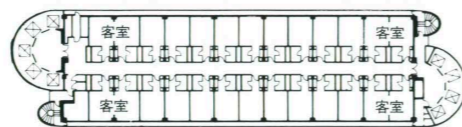
ホテル棟7階・店舗棟8階平面図



1階平面図 縮尺 1/1,200



ホテル客室 Guest room.



ホテル客室平面図

建築概要

敷地面積 7,004㎡
 建築面積 5,314㎡
 延床面積 88,028㎡

構造=鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造(8階~塔屋2階)

規模=地下4階 地上34階 塔屋2階

仕上げ概要

外部仕上げ 屋根:アスファルト防水の上コンクリート直らし 塗装仕上げ 外壁:45×95磁器質タイル打ち込み工法 PC板(高層部) 45×95磁器質タイル後貼り工法(低層部) 外構:100×200磁器質タイル・花崗岩ジェット 建具:アルミ押出型材熱硬化性アクリル樹脂焼付塗装・ステンレス鏡面仕上げ

内部仕上げ アトリウム 床:大理石水磨き 壁:大理石本磨き・45×95磁器質タイル貼り 天井:アルミルーバー・グラスクロス焼付塗装
 ロビー 床:大理石水磨き 壁:大理石本磨き一部ナラ練付合板 天井:PB塗装仕上げ
 客室 床:カーペット⑦17% 壁:ビニールクロス貼り 天井:PBビニールクロス貼り
 スカイラウンジ 床:カーペット⑦17% 壁:石綿珪酸カルシウム板・ベルビアン 天井:石綿珪酸カルシウム板一部ステンレス・ベルビアン鏡面仕上げ

設備概要

空調 熱源:4パイプ方式によるクローズ運転・深夜電力による氷蓄熱運転 方式:単ダクト空調方式(冷水・温水ダブルコイル)
 衛生 給水:高架水槽による重力式(ホテル)・減圧弁方式(客室)・リニアポンプ方式(ビル)
 給湯:ボイラー及び熱回収 排水:汚水・雑排水合流方式・通気レスによる単管方式(客室)・厨房排水・中水処理
 消火 屋内消火栓・屋外消火栓・スプリンクラー他
 排煙 機械排煙・電気式排煙口操作方式

選評

国際都市を目指す、大阪市の梅田駅前再開発計画に整合させた大規模なプロジェクトの一環であり、大阪の玄関口にふさわしい格調を備えた複合建築である。

国際級のヒルトンホテルをキーテナントとして、高級なショッピングアーケードの複合による集積効果によって、魅力ある都市景観の形成に、積極的に貢献していることが評価される。

建物の外観の構成は、あえて箱型ビルを避け、円弧と曲面を随所に導入することによって、新しいランドマークとしての象徴性を付与し、高層ビルのもつ威圧感を消去し、優しさと柔らかさを表現している。

複合建築としては内部空間の構成が明快であり、施設の中心部に大規模なアトリウムをつくり「都市ロビー」として位置づけ、街区に開かれた「ポケットパーク」の如く、喫茶コーナーを設け、人々の出会いのスペースを提供している。

さらに、地下ショッピングアーケードの通路を梅田駅へ延長し、朝夕通勤時の混雑の緩和に大きな効用を果すなど、行き届いた都市的配慮もなされている。

REVIEW

Part of the redevelopment and internationalization of the Umeda district, this vast, compound building has dignity suited to its location in what is called the gateway to Osaka. Its major tenant is the international-class Hilton Hotel, which, together with sophisticated shopping arcades, contributes laudably to the creation of a very appealing urban scene and to the vitalization of the environment. The deliberate avoidance of boxlike forms and the introduction of numerous arcs and curved surfaces imbue the building with the symbolic nature needed for a new landmark and soften the domineering effect high-rise architecture can have on its surrounding.

The center of the clear interior composition is a large atrium playing the part of a lobby. A coffee corner open to the street like a pocket-size park provides a place where people can meet. Underground shopping arcades extending to Umeda Station help alleviate the morning and evening commuter crush and indicate the diligence with which the design takes the needs of the city

キーテナントのヒルトンホテルは、竹中工務店設計・施工一貫体制の長所が生かされ、建築主側の要求に万全の対応を示し、メインロビー・大小宴会場、客室など、手慣れた洗練されたデザインと技術によってまとめあげているので安らぎがある。

インテリアデザインの一部に關与した外国人デザイナーの色彩感覚は、ユニークであるだけに、賛否・好き嫌いに分かれるのはやむを得ないだろう。

客室ごとに利用客の好みで室温が得られる「全館4管方式」を採用するなど、客室に限らず利用客の快適性の向上を図る設備システムを採用するとともに、安全、省エネルギー、省力化を徹底して成果をあげ、インテリジェントアワード賞を受け、開放された都市ロビーの提供に対して「ひろば賞」を与えられるなど、これまでの採算優先型志向の複合建築のレベルを超えた建築作品となっている。

この建築作品が竣工したことによって、梅田駅前の都市景観に魅力が加えられ、地域の活性化に貢献するものとして、受賞作品としての評価が与えられた。

Sakae Omi, Takekuni Ikeda, Hiromichi Sawamura

into consideration.

The Hilton Hotel was designed and built by the same organization, that, complying with owner wishes, demonstrated confident sophisticated design and technical skill in the main lobby, the large and small banquet rooms, and the guest rooms. It is probably inevitable that the bold color schemes chosen by the foreign designer who participated in the interiors should arouse both praise and criticism.

The building employs a total four-shaft system permitting individual control of temperatures in the guest rooms. Indeed all equipment has been planned with an eye to guest comfort, as well as to safety and energy conservation. The awards it has received for its intelligent equipment system and its open urban lobby indicate how the building transcends the level of ordinary profit-oriented commercial architecture.